■年明けの 1 月中旬に事務所を移転することが決まりました。
本郷 3 丁目駅からは、やや、近くなります。現在の事務所に比べ少し狭くなりますが、これまで事務所スペースの有効活用やレイアウトにつき、あまり考えてきませんでしたので、これを良い機会ととらえ、色々なアイディアを出して頂き、検討していきたいと考えております。
また、事務所の空間活用の事だけでなく、新たな活動の在り方に結び付けばとも期待が膨らみます。

□ **建築部会：**（小鹿紀英・谷垣正治　記）

・11 月 16 日に、YKK 黒部パッシブタウンの見学会を行いました。参加者は建築部会から呉、岡本、河野、白石、谷垣、中野、中田委員の 7 名が参加しました。北陸新幹線 JR 黒部宇奈月温泉駅改札集合に集合後、YKK 黒部事業所に移動。YKK50 ビルで会社概要説明、YKK 丸屋根展示館で製品紹介・前沢ガーデンハウス（ゲストハウス）、K-town(RC 造社員寮)、I-town（木造社員寮）を見学したのちパッシブタウンへ。パッシブタウンでは、第 1～3 街区が建設済、4・5 街区を建設中。第 1，2 街区は新築で、3 街区が森みわ氏設計の既存建物のリノベーション。ここでは外断熱・屋上緑化・減築・エレベータ新設などが行われていました。参加者からは、「大変準備された至れり尽くせりの見学会であった。」、「全体を通して住環境が大変改善されており感心させられた。」、「省エネだけなく住環境、長寿命化提言への参考になる。」、「パッシブタウンは技術的にみて ZEH 以上のものであり、大変感心させられた。」等の感想が寄せられました。なお、本見学会の概要は、建築技術 2 月号サーツニュースに掲載予定です。

・第 11 回寺子屋が、11 月 11 日（土）13：30～15：00、講演テーマ：建物調査の現状と先端技術の紹介、講演者：(株)ジャスト　青木孝二氏、で、開催されました。発表された ppt は実に 130 ページにも及ぶ大作で、現状の調査から現在の最先端の計測技術に至るまで網羅的に紹介され、非常に密度の濃い大変有意義な講演でした。珍しくこの日は聴講者からの質問もあり、これに対しても的確にお答えいただき、皆様には大変参考になったのではないかと思います。なお、第 11 回寺子屋の概要は、建築技術 1 月号サーツニュースに掲載予定です。

・11 月 20 日の建築部会の話題提供テーマは、白石さんの取り計らいで、建装工業 MR 業務推進部技術推進部長の熊谷氏による「既存共同住宅（マンション）の省エネ・再エネ改修工事」でした。「国の省エネ施策」、「省エネ関連補助事業」、「共同住宅 ZEH」、「省エネ施工事例」という幅広い範囲について資料を手間をかけて作っていただき、イラスト等により分かりやすく解説して頂きました。建築部会委員だけでなく、集合住宅部会から秋山委員・正岡委員の参加がありました。

○　次回建築部会：12 月 18 日（月）17：30～(web 会議)

□ **戸建住宅部会：**（小須田廣利　記）

（戸建住宅以外の提案依頼に関して）

・幼稚園児が少子化に伴って減少しているが、園児確保はどの様にする必要があるかとの質問が建築部会にあり、その提案協力の依頼が戸建部会にありました。部会で検討した結果＜赤ちゃん食堂＞と言うキーワードが出てきました。

・新聞情報（読売新聞 11 月 9 日朝刊）によると、各地で乳幼児を持つママの孤立化が取り上げられています。孤立化することで育児に関する情報、また相談相手もおらず精神的に苦痛と言われています。この＜赤ちゃん食堂＞の各地での開催例は、神奈川県の寒川町の助産院で月 2 回開催し、助産院のスタッフが話に耳を傾け、同時に開かれる食事会では母親の食事中は、赤ちゃんをあやしたりするなどの手助けをしているようです。会の名称は＜赤ちゃん食堂＞ですが本来の目的は、ママの孤立化を解決するためのネットワーク化が目的となっているようです。

・＜赤ちゃん食堂＞開設には、人数にもよりますが新たな厨房設備などへの若干の設備投資が必要となります。現在ある＜子供食堂＞の延長線として社会に根付く事を期待しています。

○　次回部会：12 月 8 日 4：00～5：30（各週第二金曜日）

□ **集合住宅部会：**（秋山哲一　記）
10 月末に開催された建築士会全国大会しずおか大会に参加した。
いくつか委員会等に分かれてのセッションが開かれていたが、知人が司会を担当している環境部会「ストック社会に寄り添う魅力ある建築とは―建築士 SDGs 行動宣言の実践について考える―」に顔を出してみた。2050 年のカーボンニュートラルにむけて、1980 年基準以下のストック住宅を 2050 年までに省エネ性能の高い新築にすべてを置き換えることは無理な話なので、既存住宅の省エネ改修の重要性が強調されていた。それを受けて戸建て系と集合住宅系の具体的な取り組みが数例紹介された。
興味深かったのは青森県の設計事務所の取組。青森県では交通事故死者数より、家庭内事故死が多く、浴室でのヒートショックが原因と推察されているそうだ。下北半島の北端地域に点在する空き家をモデル住戸として取り上げて、県、地元設計事務所、八戸工大の 3 者で協力して断熱改修を実施してその効果を測定し、研究成果を公開していくことによって、地元の省エネ改修実践につなげていこうとするもの。参加者から開催県である静岡県の建築士の省エネ改修に対する認識が低いのに対して対照的であるとの感想があった。
戸建て住宅に比べると、集合住宅の省エネ改修の動きは鈍いように思われる。今後の動きを見守りたい。
　〇次回も集合住宅部会とマンション管理組合支援事業部の合同で開催する予定であるが期日未定

マンション管理組合支援事業部　（丸山和郎　記）
丸山の近況：11 月 10 日喉頭がん摘出手術、11 月 17 日に退院、翌週から隔日の発声リハビリ、週末には何とか通常の会話ができるようになり、25 日には練馬石神井台の管理組合理事会に補助事業利用の大規模修繕工事について、正岡会員の説明に立ち会うことができました。28 日には東陽町住宅の非常照明設備の定期検査報告業務を、柳川、大場両会員に来期以降に向け引継ぎを兼ね、実施します。このように徐々に社会復帰できるよう体力の回復に努めております。
・令和 5 年度「国交省長期優良住宅化リフォーム推進事業」の再募集が 12 月上旬に！
早期締め切りになった補助金申請が 12 月上旬から再募集、との情報を得たため、スカイビュー戸塚の管理組合に再チャレンジを提案。2 か年申請で令和 5 年度はインスペクションのみ、令和 6 年度でサッシュ改修工事（着工’24 年 7 月 1 日、竣工 11 月 30 日予定）を計画提案。春の締め切りと同様、早いもの順で決まりますので、現在その対応作業進行中です。
・国交省補助事業申請支援業務 2 件目のライオンズガーデン百合ヶ丘の、補助金交付申請支援業務の契約は 12 月上旬に締結の予定です。

□ **余滴：　屋形船小春日和のクラス会　　捷三郎**